

教 育 長 報 告

1 報 告 事 項

平成 20 年第 2 回沖縄県議会(6 月定例会)における質問・答弁概要について

2 事 項 の 説 明

- 平成 20 年 6 月 26 日に開会した平成 20 年第 2 回沖縄県議会(6 月定例会)における代表質問、一般質問において次のような質問があった。

質問事項

- (1) 30 人学級の実施状況と今後の計画について：大城一馬、渡久地修、西銘純恵、赤嶺昇、嘉陽宗儀、新垣清涼、新垣良俊、渡嘉敷喜代子
- (2) 高校歴史教科書検定問題について：大城一馬、比嘉京子、新里米吉、嘉陽宗儀、渡嘉敷喜代子
- (3) 小学校学習指導要領解説書に沖縄戦が明記されたことについて：赤嶺昇
- (4) 小学生が演じた創作劇について：嘉陽宗儀、新垣清涼
- (5) 宮森小のジェット機墜落事故常設展示場の設置について：山内末子
- (6) 沖縄戦の次世代への継承について：新垣清涼
- (7) 本県の教育行政の課題と問題点について：渡嘉敷喜代子
- (8) 図書費流用等教育予算の削減について：上原章、山内末子
- (9) 老朽校舎の実態と改築計画について：山内末子、新垣良俊、西銘純恵
- (10) 学校施設の耐震化調査結果と今後の対応について：比嘉京子、西銘純恵、金城勉
- (11) 校舎改築への改正建築基準法の影響と対策等について：新垣良俊、新里米吉
- (12) 八重山養護学校の工事の概要及び地元企業への発注について：辻野ヒロ子
- (13) 沖縄工業高校プレハブ仮設校舎に係る新聞報道について：新里米吉、西銘純恵
- (14) 宮古総合実業高校の課題について：奥平一夫
- (15) 全国高校総体の競技力向上対策及び施設の整備状況について：上原章
- (16) 本格的な専用サッカー競技場等の整備について：上原章、山内末子
- (17) 県立図書館八重山分館の存続について：辻野ヒロ子、前田政明、比嘉京子
- (18) 離島会館(学生寮併設)建設について：大城一馬
- (19) 児童生徒のスポーツ及び文化活動における各離島代表の本島派遣費の実態と保護者の負担軽減策について：比嘉京子
- (20) 授業料減免制度の現状及び経済的な理由による退学者について：前田政明
- (21) 県国際交流・人材育成財団の奨学金返済滞納者への対応等について：新垣良俊
- (22) 知事公約「毎年 100 人の海外留学生派遣」の達成及び進捗状況について：赤嶺昇

- (23) 知事公約「小学校の外国語教育の導入」の達成及び進捗状況について：赤嶺昇
- (24) 学力向上対策の取り組みについて：桑江朝千夫
- (25) 児童生徒の生活実態調査について：桑江朝千夫
- (26) 全国学力テストの結果とその取り扱いについて：嘉陽宗儀
- (27) 新学習指導要領の一部前倒し実施について：新垣良俊
- (28) 幼稚園教育について：仲村未央
- (29) 沖縄盲学校の視覚障害単独校としての存続要請に対する教育庁の対応について：新垣良俊
- (30) 特別な教育的支援の必要な児童生徒の実態と支援について：西銘純恵
- (31) ネット上のいじめの実態等について：金城勉
- (32) 出会い系サイトの被害実態とフィルタリング等について：金城勉
- (33) 不登校の実態等について：上原章
- (34) カジノについて：西銘純恵
- (35) 教職員の休職者等の推移と原因、残業の実態及び健康管理等の対策について：渡久地修
- (36) 教員の定数に占める臨時的又は期限付任用者の実態について：渡久地修
- (37) 栄養教諭の今後の任用計画について：比嘉京子
- (38) 食育推進運動及び学校給食への地元産農水産物の活用状況について：玉城ノブ子
- (39) 食品原材料高騰の学校給食への影響と対策について：比嘉京子
- (40) 学校給食の牛乳紙パックを瓶に切り替えることについて：渡久地修
- (41) 国の文化予算を活用した県内の取組状況について：上原章
- (42) 琉舞や空手道等の授業への導入について：上原章
- (43) 港川人骨出土地の文化財指定について：糸洲朝則

このうち、「小学校学習指導要領解説書に沖縄戦が明記されたことについて」、「小学生が演じた創作劇について」、「学校施設の耐震化調査結果と今後の対応について」、「沖縄工業高校プレハブ仮設校舎に係る新聞報道について」、「県立図書館八重山分館の存続について」、「本格的な専用サッカー競技場等の整備について」の答弁要旨は、次のとおりです。

(3) 小学校学習指導要領解説書に沖縄戦が明記されたことについて

質問要旨： 小学社会科の新学習指導要領の解説書に「沖縄戦」を明記することについて、見解を聞きたい。

答 弁： 平成 23 年度から完全実施される新しい小学校学習指導要領解説書社会編の中に、第二次世界大戦によって国民が大きな被害を受けたことの事例として初めて、「沖縄戦」や「各地への空襲」、「広島・長崎への原爆の投下」が明記されました。

これまで解説書の中には、第二次世界大戦の国民の被害などについての具体的な記述はなく、教科書に取り上げるかについては、教科書会社の裁量に任されていました。

今回、解説書に記載されたことで、全国の小学校の授業で沖縄戦が取り上げられることになり、沖縄戦の学習が進展するものと考えます。

県教育委員会としましては、今後とも児童生徒が平和で民主的な国家及び社会の形成者として育つよう取り組むとともに、再び悲惨な戦争が起こらないよう平和の尊さという人類普遍の教訓を世界の人々へ発信していくよう、努めて参りたいと考えております。

(4) 小学生が演じた創作劇について

質問要旨： 宜野湾市の志真志小学校で「集団自決」を題材にした創作劇の上演に対して、抗議や中止を求める電話等があった様だが、見解を聞きたい。

答 弁： 小学校で上演された劇は、6月23日の慰霊の日に向けた「平和学習」の一環であり、本県の平和教育の指導指針に基づき、市教育委員会の適切な指導・支援のもと、学校全体で取り組まれたものと報告を受けております。

児童生徒が、本県の歴史や地域の特性を踏まえ、体験的な活動や体験者の講話などを通して、戦争の悲惨さに触れ、平和の尊さや思いやりの心をはぐくむことは重要なことだと考えております。

(10) 学校施設の耐震化調査結果と今後の対応について

質問要旨： 国内外で地震が頻発し深刻な被害がでているが、学校施設の耐震診断はなされているか。耐震化の対策はどうなっているのか

答 弁： 児童・生徒が安全で充実した環境で学習できることは大切であると考えております。本県では、これまで「沖縄振興計画」による高率補助制度を活用して、学校の老朽化建物の改築に取り組んできました。

その結果、平成20年4月1日現在での校舎の耐震化率は、小中学校が全国平均62.3%に対し69.1%、高等学校が、全国平均64.4%に対し82.3%と全国平均を上まわっております。

県教育委員会としましては、今後とも、改築事業による耐震化に一層取り込んでいきたいと考えております。

(13) 沖縄工業高校プレハブ仮設校舎に係る新聞報道について

質問要旨： プレハブ仮設校舎で授業をしている沖縄工業高校で体調不良を訴える生徒が相次いでいる。生徒や教諭らは「我慢の限界」としてクーラーの設置などの対策を求めているが、県教育庁は調査をしたか。どのように対応するか聞きたい。

答 弁： 沖縄工業高校校舎改築事業は、改正建築基準法の施行により申請手続きや建築確認に時間を要したことから着工に遅れが生じましたが、当初から平成19年度から20年度の2か年事業として計画し、改築事業を実施しております。

現在、仮設校舎を設置し事業を進めておりますが、当初の暑さ対策として、扇風機、冷水器を設置してきたところであります。

学校からの暑さ対策の要望に対しまして、職員を学校へ派遣し実態把握に努めるとともに遮光ネット及び屋根へのスプリンクラーの設置等を行いその改善を図って参りました。

去る7月5日に沖縄工業高校の仮設校舎を視察し、依然として厳しい状況にあり、早急に対策を講じる必要があることを痛感しております。

県教育委員会では、学校に対し熱中症対策等、生徒の健康・安全を最優先にきめ細かい対策を講じるよう指導をしているところであります。

さらに抜本的な対策としてクーラーの設置等を検討しているところであります。

(16) 本格的な専用サッカー競技場等の整備について

質問要旨： 知事公約の「本格的な専用サッカー場と練習場の整備につとめ、Jリーグの誘致を目指す」とあるが、現在の進捗状況を聞きたい。

答 弁： サッカー専用スタジアムの建設は、国際大会やJリーグ等のプロの公式試合が誘致可能となり、青少年に夢と希望を与えるものと考えております。

県教育委員会としましては、今年3月に関係部局及び関係競技団体で構成する「サッカー競技場整備に関する調査・検討連絡会議」を設置し、サッカー専用スタジアムについて鋭意検討を重ねているところであります。

用地や建設費、管理運営主体等の課題があることから、今年度は、先進県への調査を行い、施設の規模や形態、管理運営費等総合的に調査・研究を進めてまいりたいと考えております。

(17) 県立図書館八重山分館の存続について

質問要旨： 今後のあり方について凍結し、検討すべきだと考えるが、どうなのか聞きたい。

答 弁： 県立図書館分館については、「沖縄県行財政改革プラン」に基づき、市町村との役割分担など、その在り方について検討を重ねて参りました。

その背景としまして、平成13年7月18日付け文部科学省告示で、「市町村は、住民に対して適切な図書館サービスができるよう、公立図書館の設置に努めること」としており、現在、石垣市では市立図書館が設置されております。

また、八重山分館の直近5年間の平均貸出冊数は、石垣市立図書館の5.5%と少ない

状況にあります。

更に、八重山分館は築34年と施設が老朽化し、その維持・運営が大変厳しい状況であることなどから総合的に判断したものであります。

なお、昨年廃止に伴う地域説明会を石垣市等において実施して参りました。その際の主な要望としましては、八重山地区では移動図書館の継続、郷土資料の地元への寄贈などがありました。

このことから、分館が所有している郷土資料等を市立図書館や学校等に寄贈するなど、当該地域の図書館サービスが低下しないよう努めていきたいと考えております。

再質問要旨： 地元の声を無視せず、理解が得られるように話し合いをしていただきたい。
また、9月の県教育委員会で規則の改正が決定されると聞いているがどうか。

再 答 弁： 県教育委員会としましては、現時点では、地域住民のコンセンサスが得られていないと認識しておりますので、9月の県教育委員会会議に分館廃止に関する規則改正議案を提出することはありません。
引き続き、地元の理解が得られるよう進めてまいります。

○ 文教厚生委員会において以下の陳情の審査が行われた。

新規陳情（10件）

陳 情	第 35 号	石垣市における小学校低学年の30人以下学級の実現を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 40 号	「30人以下学級」の早期実現を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 50 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 57 号	2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 59 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)
陳 情	第 63 号	サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 64 号	「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情	(継続審議)
陳 情	第 66 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情	(継続審議)
陳 情	第 67 号	沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情	(継続審議)
陳 情	第 82 号	沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情	(継続審議)

○ 平成20年7月16日、米軍基地関係特別委員会において、以下の陳情の審査が行われる予定である。

新規陳情（2件）

陳 情 第 38 号 県立沖縄高等養護学校への米軍車両無断侵入に関する陳情

陳 情 第 89 号 普天間飛行場代替施設（新基地）建設事業にかかるアセス手続及び
「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等
に関する陳情